

令和8年度 第2回女川町地域公共交通会議
町民バスのデマンド運行方針について

令和8年8月4日
女川町企画課

I . デマンド交通に関する進捗状況について	P3
II . 町民バスのデマンド運行方針について.....	P4

I. デマンド交通導入に関する進捗状況について

○公募型プロポーザルによるデマンド交通システムの選定

- ・令和8年5月20日に開催した女川町地域公共交通会議における「町民バスへのデマンド交通導入承認」後、公募型プロポーザルによりデマンド交通システムの選定を実施。
- ・全2社が参加し、企画提案書及びプレゼンテーションに基づき、「ネクスト・モビリティ株式会社」を選定し、現在、契約締結に向け手続き中。

○ネクスト・モビリティ株式会社の概要及びデマンド交通システムの概要

- ・本社 福岡県福岡市中央区天神2丁目12番1号天神ビル9階
- ・運営 西日本鉄道(株)・三菱商事(株)の合同持株会社として2019年設立
- ・導入実績 令和8年6月末現在、全国83箇所導入（展開準備中15箇所含む）
うち、自主運行事業 1箇所、自治体事業主体 73箇所、民間事業主体 9箇所
近隣では福島県喜多方市、二本松市などで導入
- ・特徴 ①有人電話受付のほか、自動音声受付による電話予約に対応
②専用アプリ、WEBブラウザ以外に、町公式LINEとミニアプリの連携による予約に対応
③利用登録不要のタブレット端末からの予約にも対応
④特定時間帯の定時定路線運行や電子決済への対応など、将来の拡張性を考慮したシステム
詳細については参考資料①を参照

○新設バス停候補地の現況確認等

- ・運行車両（トヨタ ハイエース級）と同型の車両を用い、幅員・旋回・停車場所の現況確認を実施
- ・狭小道路を通行可能な小型車両の配備を検討中（トヨタ ノア級）

Ⅱ. 町民バスのデマンド運行方針について①

○町民バスのデマンド運行の方針

町民バスのデマンド運行にあたっては、モビリティ研究会における検討結果を踏まえ、以下の方針に基づき具体的な運行内容を検討。

方針① 利用者にとって利便性の高いサービスの提供

- ・バス停の増設（現行50箇所→202箇所）により、自宅もしくは目的地からバス停までのアクセス性を向上。
- ・町内全域を運行区域とするフルデマンド方式の導入により速達性を向上。
- ・定時定路線を廃止し、乗車時間を選択できるデマンド運行とすることにより利便性を向上。

方針② 持続可能な公共交通サービスの提供

- ・デマンド運行により、運行台数を最適化（現行6路線→町内全域を5台で運行）するとともに、空バス抑制による運行の効率化。
- ・デマンド運行後の運行実績の分析により、随時、運行内容を改善。
- ・デマンド運行+他事業（スマートモビリティの活用）との連携により、中心部における移動のし易さを通じ、まち全体の価値を向上。

Ⅱ. 町民バスのデマンド運行方針について②

○デマンド運行内容(案)について

①運行区域

【町内の居住区域(白枠内約13km²)】

- ・バス停増設により、これまで運行していなかった一部エリア(赤丸)へも運行。



Ⅱ. 町民バスのデマンド運行方針について③

②運行方式

【バス停方式(指定乗降箇所 202箇所)】…参考資料②

- ・既存のバス停(50箇所)+各地区のゴミステーション及び公共施設にバス停を追加。
- ・100m圏内にバス停を設置することにより、自宅からのアクセス性を向上し、「バス停まで遠い」課題へ対応。
- ・運行後の実績を分析し、バス停の廃止・新設を調整。

③運行日

【月曜日から土曜日まで】※年末年始12/31～1/3運休は変更なし

- ・モビリティ研究会における実際の町民バス利用者の意見を反映し、土曜日の医療機関受診機会の確保。
- ・土日を中心とした空バス抑制により、運行の効率化。
- ・日曜日の運行廃止については、デマンド交通説明会において行動変容を促す。

(参考)路線別曜日別の利用状況(R6.4～R7.1月の利用データ)

・北浦線	中心部行き	最大1.2人/便(木曜日)	最小0.3人/便(土・日曜日)
	指ヶ浜行き	最大1.0人/便(月曜日)	最小0.3人/便(土・日曜日)
・五部浦線	中心部行き	最大0.6人/便(火・木曜日)	最小0.1人/便(土・日曜日)
	小屋取行き	最大0.6人/便(金曜日)	最小0.1人/便(土曜日)
・安住針浜線	最大1.3人/便(金曜日)	最小0.3人/便(土・日曜日)	
・まちなか線(西区行き)	最大4.9人/便(木・金曜日)	最小0.9人/便(日曜日)	
〃	(宮ヶ崎行き)	最大5.3人/便(木曜日)	最小0.8人/便(日曜日)

Ⅱ. 町民バスのデマンド運行方針について④

④運行時間

【始発便】 6時30分発

- ・7時31分女川駅発の石巻線への接続を考慮。(小屋取から女川駅まで約40分として計算)

【最終便】 18時発

- ・17時43分女川駅着の石巻線の到着を考慮。(現行の最終便のダイヤと同程度とする)

⑤運賃

【片道 400円】※高校生以下、障害者手帳所持者は無料とする。

- ・現行の片道200円から、利便性向上に伴う最低限の料金アップとして設定。
- ・上げ幅については、モビリティ研究会における実際の町民バス利用者の意見を踏まえ判断。
- ・デマンド関係経費の追加と運行台数削減によるコスト削減の相殺により、約5百万円のコストアップと想定し、R7年度利用者数22,491人で除した場合、1人当たり222円の負担増。
(※利用者の中には高校生以下や減免対象者も含まれるが、町の施策として無料にしているため単純計算とした)
- ・ただし、「自宅付近のバス停」から「地域医療センター」まで、「地域医療センター」から「スーパーおんまえや前」まで、「スーパーおんまえや前」から「自宅付近のバス停」までといった利用を想定した場合、400円×3回乗車=1,200円となり、利用者の負担増加につながる恐れがあることから、1日乗車券を新設し、片道料金400円×往復=800円でデマンド交通を利用できるよう配慮。

Ⅱ. 町民バスのデマンド運行方針について⑤

⑥運行台数

【5台】・・・町内全域をカバー

- ・町民バス乗降調査結果を基に、Maas Blenderというシミュレータを用い、運行台数の最適化を検証。
- ・現状の利用状況から町内全域を5台で対応可とのシミュレーション結果。
- ・ただし、利用が拡大した場合は注意が必要とのシミュレーション結果となっており、デマンド運行後の運行実績の分析により、運行台数の最適化を検討。

⑦予約方法

【アプリ】・・・専用アプリのほか、町公式LINEとミニアプリの連携

【電 話】・・・有人対応（オペレーターによる代行入力） 9時から18時まで
自動音声対応（プッシュボタン式） 18時～翌9時まで

【端 末】・・・主要な公共施設へ予約操作端末（iPad）を設置し、利用登録なしでも予約が可能

【予約締切】・・・始発便：前日の18時まで（運転手の勤務開始が5時30分のため、中心部→小屋取の移動を考慮）
最終便：当日の17時30分まで（中心部→小屋取の移動を考慮）